

SPIT 'EM OUT! "it's absolutely raw"

This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...

feature interview

DJ KAORI

約4年振りに本紙の巻頭インタビューに登場のDJ KAORI。女性DJのバイオニア的存在の彼女に、そのモチベーションやリリース第2段となるMIX CDとそのリリースパーティーへの意気込みを語ってもらった。

■9/29にMIX CDの第2弾「DJ KAORI'S "RIDE" into the PARTY」が発売されたりと、精力的に活動されていますが、現在は日本とNYを行き来されているのですか？

今年から日本にもアパートを借りて、殆ど日本に居ましたね。NYには2ヶ月に1度、1週間とかその位しか帰れないという感じで日本に居る事が多かったです。その分日本で色々仕事が出来たので凄く良かったと思ってますけど。MIX CDのリリースもあった事ですし、今日の前にある仕事を一個こなして、少しでも前に進めればと思っています。

■今回の作品は、前作同様、洋楽と邦楽のMIX CDですか？

そうです。かなり良いですよ。2枚組で税抜き2,900円(笑)。ホントに自分で言うのも何ですけど、良い曲がいっぱい集まっているので、とにかく聴いて欲しいですね。日本に居ると、こういう音楽をまとめてラジオとかで聴く機会もないし、せっかく作っても「一体どこでかかっているんだ？」という感じじゃないですか？日本は音としてメディアに載る機会が少ないと思うので、自分の作った曲であり何であり、作っただけで聴いて欲しいし、良い曲がいっぱいあるから、それをいろんな人に紹介したいけれど、今まではそういう場が少なかった訳ですよ。今回こういう形でCDをリリース出来るようになって、そういう良い曲をいろんな人に聴いて欲しいと思うので、是非聴いてみて、それがきっかけでもっと音楽が好きになって欲しいなと思います。

■前作との違いは？

今回はタイトルも「"RIDE" into the PARTY」という事で、パーティーっぽい華やかな感じですね。楽曲もR&Bが多かったりとか、洋楽の方は相変わらずWEST SIDE物を中心にFATMAN SCOOPみたいなパーティーブレイクも入れたりも、パーティーな感じで聴いてもらえると思うので、流れるにはスムーズに聴けると思う。是非CDを聴いて、あがって行って夜の街にでも出掛けて行って欲しいものです。よくアルバムを買って、1、2曲良い曲があって、あと何曲かはちょっと…っていうのもあると思うんですけど、今回の場合は、1曲もハズしがなくて、私が絶対「良い！」という曲を厳選して入れたので、マチガイナイ!! 是非みんなに聴いて欲しいです。

■前作も邦楽ではレコード会社の垣根を超えて入っていましたよね？

今作もそういう感じでいろんなアーティストやレーベルに協力して頂いて、こういう形でCDを作る事が出来て、ホント皆さんに感謝してますし、より多くの人に聴いてもらえるようにDJ KAORIも一生懸命頑張りたいと思います。やっぱりDJだから音楽が好きなのはもちろんで、DJっていう事は皆さんにそういう音楽を紹介する役割があると思うんですよね。そういう意味で自分なりに良い曲をみんなに広めていく事が少しでも出来ればと思います。

■普段のDJプレイで日本人のアーティストの楽曲をかける事はありますか？

そうですね、たまに。今回日本に住み始めてアパートを借りてもう1年くらいですけど、特にライブをやってから日本の楽曲を聴くようになって、あがれて踊れてっていう良い楽曲も沢山あるので、何曲か自分の中で引かかる曲があれば積極的に、これからはもっと取り入れて、自分なりのスタイルでDJが出来ればと思います。

■NYに住んでいる時は日本人アーティストの曲を聴く機会もあまりなかったと思いますが、今回日本人のアーティストの楽曲をMIXしてみたいかですか？

自分的には凄くフレッシュでした。洋楽の方は今まで10年くらいDJをしてるから、自分の中でルーティン的な所もあったけど、そういう意味ではやっててフレッシュな感じがして楽しかったですよ。凄く有り難い事ですよ、良い音楽との出会いというのは。やっぱり長い間同じ職場だったりだと、飽きてきちゃう部分もあるじゃない？でもまだDJをや

るかかって思うっていうのは、良い楽曲が沢山あるから、ついそっちの方向へ流れて行く訳で、曲がないと私達の仕事は盛り上がりませんからね。日本のアーティストの人達にも、もっと頑張ってもらいたいですよね、自分も含め頑張りたいと思います。

■日本のHIP HOPシーンの盛り上がりや、曲のクオリティがあがってたりとか、日本のシーンについて何か感じる事はありますか？

10年前にもこういうシーンはあったけど、今は偉い違いというか、楽曲的なクオリティも高い物も多いと思うし、音の面でもクオリティがどんどんあがってきているという作品もいっぱいあるので、今日日本のマーケットも楽しいと思いますよ。そういう音楽がテレビとかラジオから流れる状況になればもっと楽しくなっているのはありますよね。アメリカだとラジオでDJが番組を持って、そういう音楽好きな人が、レコード会社とリスナーの間にワンクッション入って、リスナーの聴きたい物をチョイスしつつ、自分たちの気に入った物をかけていくというような、そういう健全なスタイルの時間の枠が広がれば良いのではと思いますね。

■地方のクラブとHARLEMの違いを感じる所はありますか？

今はどこの地方に行っても、音楽が好きな人が居て、アツいと感じますよね。私もツアーとかでキツくて、肉体的にも精神的にも疲れていても、音楽が好きな人達のお陰であげてもらえるというか、何とかライブをこなしていけるというか、どこのお客さんもアツくて、確実にそういうのが好きな人が広がってきているなって感じます。

■レコードはアメリカの自宅から持ってきてるのですか？

まだそのままあるので、たまに行き来して持ってきたりとかしつつ、日本にあるもので日本の地方は回ってますね。別に日本に帰るつもりで来た訳ではなく、こっちに来て仕事して、それが雪だるま式に次の仕事、次の仕事ってなっちゃって。

■アメリカと日本で選曲を変えたりしますか？ またお客さんの反応は違いますか？

基本的に私の場合同じですけど、お客さんや場所によっては選曲は変えますね。アメリカのお客さんは、のせないとのらないというのはあるけど、それは日本も同じだと思う。シビアに踊らなくなったりとかはあるけど、でもそれも日本でも同じなのかな、多分。あんまり変わらないと思いますよ。

■やっぱりクラブDJとしての様々な経験がプロデューサー業にも活かされているのでしょうか？

そうですね。DJをやっている間に色々聴いて自分なりに吸収してきた物の中での自分の曲作りなので、そういう意味ではあると思いますね。

■トラックメイクはいつ頃から？

一番最初にリミックスの仕事をしたのは98年くらいです。今でもいろんなクリエイター達とコラボレーションしながら作ったりというスタイルなので、自分で作る時もあるし、色々ですよ。私もまだ始めたばかりなので勉強中というけど、色々なレコーディングを経験しながら、日々勉強させてもらってますよ。だけど自分にとって新しい事なので楽ししいし、HIP HOPって洋楽をかけている部分では、やっぱりストレンジャーなニュアンスもつきまとうんだけど、これが日本人で自分の国で日本語で曲を作る自分のアイデンティティのままでオクッーな環境で曲を作るっていうのは凄く心地良いですよ。自分は日本人として生まれ育ってきて、別にプロジェクトで生まれ育った訳でもないし、日本で自分の感情を無理しないで出来るというのは仕事としては楽ですよ。

■DJやシンガーやプロデューサーなど色々肩書きをお持ちですが、今後はどこが一番比重を置こうと思っていらいしますか？

ちょっと分からないですよ。自分でもやりたい事をやりつつ、とにかく一個一個やる事をこなして、



それが形になっていけば良いかなって感じで。そういうので色々悩んだ時期もあったんですよ。現場をやると制作が出来なかったり、そういうジャンルもあつたりして。音楽が好きでDJを始めたんだけど、そういうのが楽しめなくなっちゃった時期も、長い間DJをしているとあるじゃない？ビジネスとか人間関係とかいろいろな面で、単純にDJを楽しめない、単純に音楽を楽しめる状態じゃない、そういう状況が続いていた時代があったから、今はそういう風にはなりたくない。「楽しくないんだっからやらなきゃいい」ってそういう風に思っちゃって。音楽を楽しめるような状態じゃなかったらやっていると意味ないなって。自分が楽しめるような状況をいつも作りたいと思う。邪念に惑われないように、自分をしっかり持って、自分の好きな事を楽しみながらやりたい。

■その悩んだ時期をどうやって乗り越えたのですか？

落ちるときはホントに落ちる。引きこもるタイプなので。でも人間そういう時もありますよ。そういう時は無理はしません。自然に答えも出るし。視野が狭くなっているのよ、そういう時って。自分がどうじゃなきゃいけないとか、ここしか生きられないとか、このチョイスはこれしかないかと思っていると、どんどん深みにハマっちゃって、その事ばかり考えちゃうって悪循環が訪れるから。人生って仕事だけじゃないじゃん？もしかして明日とか死ぬかも知らないし、そういうのを考えると、そこまでの事じゃない訳よ、全ての事は。そう考えたら楽しく気持ちを持つのも持たないのも、自分次第じゃん、とりあえず生きている間は。だからわざわざ自分をコンプレクシーな方向へ持っていかないで、シンプルに自分の気持ちに正直に生きると。わからないですけど、そういう風に今は思います(笑)。もう失敗しても良いんですよ。そういう気持ちでこれからもDJをやりたい。恐れずに。

■10/10にHARLEMで行われるパーティーはどんな風になるか、意気込みを教えてください。

「"RIDE" into the PARTY」なのでちょっと華やかに。今回のCDにはオリジナル曲が入っていて、DJ KAORIとインリンちゃんの日べルマンという組み合わせなんですよ、この日はその初お披露目ライブをガッツリとやるので、是非BOYS&GIRLSは楽しみにして欲しいです。パーティーなので楽しく盛り上がり、華やかで、みんなが笑顔で楽しかったと帰れるようなパーティーが出来ればと思います。

■最近女性DJも増えていますが、何かアドヴァイスを。

DJは見かけよりかなりキツくて、収入的にも凄く訳ではないかもしれないし、今の日本はまだビジネスになってる状況じゃなくて、これからみんながビジ

ネスにしていかなきゃいけないという状況なので、そういう意味では仕事としてキャリアとしてDJをやっていくという事は、まだまだ日本では大変な事だと思うけど、やめたら終わりので、とりあえず頑張ってくれと。楽しんで是非やって欲しいと思います。

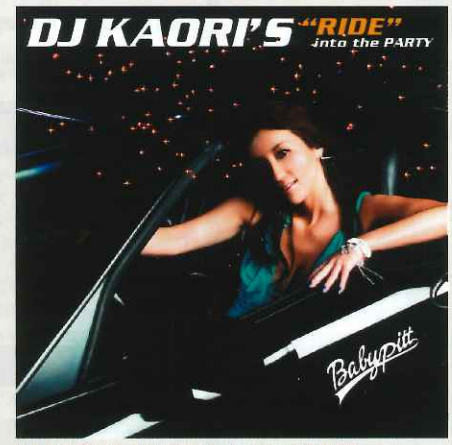
■今後の予定は？

MIX CDが出て、今後は自分のソロプロジェクトにも取りかからないといけないという事で、是非皆さん楽しみにして下さい。徐々に曲はやっているけど、これから頑張りますので注目！パーティーもいつものようにやっているの、遊びに来て大きな音で音楽を聴いてみんなで盛り上がりましょう。

■最後に一言。

音楽は凄く楽しい物なので、是非盛り上がりましょう。そして「DJ KAORI'S "RIDE" into the PARTY」を聴いて10/10はHARLEMに遊びに来て下さい！絶対損はさせません。

マチガイナイ!! リアルシットです。前作より自信あります!! Interviewer: Maki Kawaguchi



DJ KAORI'S "RIDE" into the PARTY NOW ON SALE!
¥3,045 (Tax in) VICP-62823-24

DJ KAORI feat. Yinling Of Joytoy with DOBERMAN INCによる新曲「Be My Lover!!」も堂々収録!

本作も前作同様、CD1がドメスティック(邦楽)・ミック、CD2がインターナショナル(洋楽)・ミック、それぞれのディスクともに、更にヒート・アップした選曲でDJ KAORIならではのスタイルで、グルーヴィーな世界が堪能可能!!